



1 沖縄県金武町からの視察

沖縄県金武町の視察では、主に担当された小・中経営部会の先生方、大変お疲れ様でした。

視察の協議会では、穂波東校の小中一貫教育（主に異学年交流）、英語教育、プログラミング教育、学力向上等について、熱心な質問や感想をいただきました。その中で「何故飯塚市は、どの小中学校でも同じ方向性で教育活動に取り組むことができるのですか。」「飯塚市であれば、異動をしても、これまで自分が取り組んできた教育活動の方向性を変える必要がなく大変羨ましく思います。」「MIM、徹底反復学習、協調学習、小中一貫教育等の様々な教育が全市的に取り組まれていることがすごいと思います。」の感想等があり、改めて「飯塚市の強み」を認識することができました。

また、視察団の代表の方から「貴校の児童生徒さんはよく挨拶をされますね。」とお言葉をいただいたことは、凡事徹底に取り組んでいる穂波東校職員の一人として大変うれしく思いました。

今回、視察を受けたことは大きな刺激となりました。これからも、現状に留まることなく、小学部・中学部で力を合わせ、穂波東校の教育を発展させていきましょう。



授業見学をされる
視察団の先生方



穂波東校の小中一貫
教育等についての協
議会

2 飯塚市教育講演会 ー大杉 住子氏 講演会ー

2月23日（土）の飯塚市教育講演会に参加された小・中学部の先生方、お疲れ様でした。

参加者は優に100名を超え、今後の教育改革に対する関心の高さに驚きました。

講師の大杉先生は、「これらかの時代に求められる資質・能力」について、新学習指導要領や大学入試改革と関連付けながら、とても分かりやすく解説されました。沢山のことを学びましたが、その中で、小中一貫教育に関連することを私なりにまとめましたので、以下にお示しします。

(1) 思考力の育成は一日して成らず

大杉先生は思考力に育成について「子どもの思考力は、“縦のつながり”の中で育成されます。目の前の子どもの思考力を育成する際、これまでに“どのように”“どのような”思考力を育成しているかを踏まえて、取り組むことが大切です。」と言われていました。

思考力の育成においても、「小中一貫だよりNo.13～15号」でもお伝えした“縦方向の見方”が重要であることが改めて分かりました。“縦方向の見方”の取組を進めていきましょう。

(2) 入試に込められたメッセージを読み取る ー今のままの授業で良いのかー

大杉先生は「入試問題には、“これからの時代に必要な能力は何か”というメッセージが込められています。」「これらかの入試問題は、一つの出来事を多角的に考える問題、複数の資料から一つの結論を導き出す問題、ある結果をグラフ・表・図等の多様な方法で表現させる問題などが主になります。」「今の学校では、思考力を育てる授業を行っている」という前提で入試問題をつくります。」と言われていました。そして、「それは“すべては子どものため”であり、“激しい変化の中でも生き抜くことができるようになるため”です。」と。

社会が激しく変化し、入試（大学だけではなく、高校・中学も）も変化しています。

「穂波東校の日々の授業、中学部の定期考査の問題等々、今のままでよいか!？」

もう一度、このことについて、考え、意見交流し、取組を進めましょう。